

星一 ほしの實業家。明治六年十一月二十五日福島縣生れ、昭和二十六年一月十九日歿（二八七三—一九五二）。幼名佐吉。明治二十七年高等商業學校卒業後アメリカカリフォルニア州ロンドンビヤ大學に學ぶ。四十一年衆議院議員、四十四年星制藥株式會社創立。戦後第一回參議院選に全國區で一位當選。ロサンゼルスで客死した。妻精は人類學者小倉井良精、歌人喜美子（森鷗外の實妹）夫妻の次女、小説家星新一はその長男。

著書 『お母さん』 『日本略史』（昭和十二年七月十六日自刊）、 『支那の歴史』（昭和十二年二月） 『二十五日星同窓會』、『折檻學—日本折檻學』

（昭和二十四年十一月） 『二十五日學前會書院』等。大山憲法著 『星一評傳—努力と信念の世界人』（昭和二十四年十一月十五日共和書房）刊。